

心ゆたかに、みんなの音楽会

健康福祉部会



真空管の機材もあります



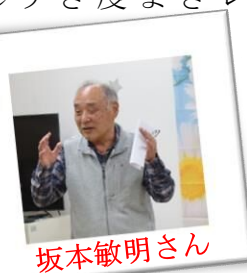
名曲に聞き入る参加者



寿会の皆さん

2月27日(火)、コミュニティ多目的会議室で「みんなの音楽会」が開催されました。恒例となった音楽会ですが、今年も坂本敏明さんにナビゲーターとして奮闘していただきました。リクエストされた曲の準備から、最高の状態で聞けるよう音響機器の調整など専門家ならではの環境づくりの後いよいよ鑑賞会の開始です。人の耳が聞き分けることのできる周波数やレコードとCDの違い、各曲にまつわるエピソードなども曲の合間に教えていただきました。クラシック、演歌、歌謡曲など様々なジャンルの名曲を楽しみました。コロナ禍で昨年までできなかったコーラスサークル「寿会」も「祝いめでた」「嬉野市曲」を合唱し花を添えて

いただきました。15分の休憩を交えながらの楽しい2時間はあつという間に過ぎていきました。最近亡くなった歌手の八代亜紀さんの「雨の慕情」や連続朝ドラにちなんだ「東京ブギウギ」、佐賀の漁師さんが猛練習の末弾けるようになった話題となり映画化もされるというピアノ曲「ラ・カンパネラ」など15曲。手作りの音響機器により重厚かつクリアなサウンドで集まった34名の皆さんの心をリラクセスさせ、リフレッシュできたと感じます。来年度は是非聞きたい曲をリクエストして参加しませんか。



坂本敏明さん

環境整備部会

2月14日(水)環境整備部会の先進地視察で唐津市の「クリーンパークさが」を視察しました。公共関係と型廃棄物処理施設という廃棄物による環境汚染を防止する最前線に立つ施設です。



広い処分場もあと15年で満杯

できるだけゴミを出さない、リサイクルするなどして最後の最後まで残ったものを環境破壊せずきちんと処分する施設です。

説明を聞き、できるだけ型社会の必要性を感じて帰路につきました。

健康福祉部会

健康講座「骨粗しょう症」

2月19日(月)、本年度2回目の健康講座が開催されました。鹿島市の志田病院から8名のスタッフで来られ、「骨粗しょう症について」というテーマで1時間の「出張健康教室」でした。37名が熱心に受講しました。『50台女性の3人に1人がり患している』という驚くべき「骨粗しょう症」とはどういうものか、なぜなるのかを説明してもらい、その後、予防として「運動」「食事」などを専門のスタッフによりわかりやすく教えていただきました。かかとの上げ下ろしなど手軽にできる体操です。参加した皆さん続けていきましようね。



講師の坂本先生 (光武出身)



予防の運動指導も

ありがとうございます 母校にたくさんの図書のご寄贈

3月5日(月)久間小学校で本の贈呈式が行われました。佐賀新聞社を退職され、現在は北山少年自然の家所長をしておられる高井誠さん(北下久間出身)が、「母校に何か恩返しをしたいと常々思っていました」と学校と相談の上図書をご寄贈してくださったのです。今回67冊ですがこれから時期をおいてあと2回本を贈られます。高井さんから児童代表で1年生の満武夢叶さんに目録を手渡され、5年生の坂井優芽・中村凛々子さんがお礼の言葉を述べました。高井さんは「新聞で久間小学校の皆さんの投書やいろいろな活躍が報道されているのを見るのは嬉しい」「本はいい友達でもあり、いい先生でもあると思います。たくさん読んで豊かな人生を送ってください」と子供たちに暖かいメッセージを送られました。



図書目録の贈呈



贈呈された本の前で



一緒に校歌を歌う高井さん

久間小学校はNIE (Newspaper in Education 教育に新聞を)にも積極的に取り組んでいるので、佐賀新聞で久間小の名を見かけることは多いですね。また読書活動も盛んで昨年度「朝の読書大賞」という大きな賞を受賞しています。

青少年育成部会

お餅を焼くぞ〜

3年生七輪体験

2月13日

(火)3年生の昔の生活を知る授業で「七輪



体験」があり、6名がサポーターとして参加しました。最近

は火をおこすという作業は大人でもしないのですが、人類は火を操れるようになって文明を手に入れたのです。地震などの災害時でも役立つことなので今年も気合を入れての火おこし。

どの班もしっかり炭に火がつき、次はお餅を焼く作業です。火が強すぎて焦げ付いたりしな



がらも慣れてきたらきれいに焼けました。



用意されたきな粉、しょうゆ、ノリなどで美味しく食べていました。いろいろな作業も元氣よく取り組む子供たちにサポーターが元氣をもらいました。

事務局長雑感

3月は卒業式の季節だが、唐津市肥前町や厳木町では今年度末で小学校が統合する記事を見た。学び舎であり、母校となるはずだった校舎との別れでもある。少子化による複式学級解消などが理由だがそんな学校がこれからどんどん増えていくだろう。友達と長い時間を共有して過ごした学校がなくなるのは寂しいものだ。自分が卒業した小学校も、入学したころは新しくなった中学校もその校舎はもうない。でも母校の名と校歌はそのままで。統廃合で校舎がなくなり、その校名も統合によって変わる。当然校歌も変わるだろう。『続いているかな』その寂しさはいかばかりか。

先日、久間小出身で母校にたくさんの本を贈られた高井誠さん(記事にも書いてます)の図書贈呈式のこと。校歌斉唱のときに高井さんが、ステージ横の校歌が書かれた額が見えるところまで移動して、一緒に歌われているのを見てなんとも言えない感動を覚えた。卒業時の校舎はな

いけれども校歌は続いている。久間小学校がいつまでもここにあり、地元大好きの子供たちが、高井さんのように地元を愛し、誇りに思う人に育ってくれることを願ってやまない。

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分～4時15分まで

3月 冬 野
4月 南志田

よろしく
お願いします



※PTAも月2回パトロールしています